

会社案内



# Message

## 付加価値を追求して より快適で安全な空間づくりに貢献します。

Message

### 暮らしのあらゆるシーンへ 人に優しい快適を。

家庭に、オフィスに、街の中に。  
タチカワブラインドは、  
人に優しい快適な環境づくりをお手伝いする  
多彩な窓まわり・間仕切製品をお届けいたします。  
すべてのお客さまの笑顔のために、  
安心して楽しんでいただける空間を提供してまいります。

当社は1938(昭和13)年に創業し、布製や木製のブラインドの販売から歩みはじめ、今日では窓まわりの製品のみならず、間仕切や電動の窓まわり製品などさまざまなインテリア製品の提供を通じて、みなさまの暮らしをより快適にする空間づくりの提案を続けてまいりました。

近年、IoTなどの情報通信技術が加速度的に進化するとともに、生活様式や経済活動などにおいて、ますます多様化が進んでいます。

このような新時代のニーズに応えるため、当社は長年培ってきた技術力と経験を活かし、間仕切や電動の窓まわり製品など新しい暮らしをより快適にする付加価値の高い製品のラインナップを強化するとともに、小さなお子様やお年寄りのいるご家庭でも安心してお使いいただける製品づくりに取り組んでおります。

当社は、これからも、窓まわり・間仕切製品のリーディングカンパニーとして、ご家庭からオフィス・施設まで幅広いお客様の期待と社会の要請に応えながら、「安心・安全・快適」のテーマを軸に、「環境」や「健康」など時代のニーズに応じたテーマを取り入れたものづくりを行うことで、サステナビリティの実現と、より快適で、より安全な空間づくりに貢献し、お客様一人ひとりにご満足いただけるよう努めてまいります。



代表取締役社長 **池崎久也**

### 時代とともに、お客様とともに ——モノづくりの原点を見つめ続けて——

創業者立川孟美が、出身地・新潟から上京して就職したのは染物屋でした。就いた仕事は、松やにや、でんぷんを混ぜて作った糊を綿布などに塗り、本の表紙や布製ブラインドに使う布製品を仕上げるものでした。ここで培われた技術と信頼をもとに、1938(昭和13)年、「立川工業所」を設立。今日の立川ブラインド工業創業の瞬間です。

まもなく日本は戦渦に巻き込まれ、終戦後、東京は廃墟と化しました。しかし、進駐軍からブラインドの注文が殺到。ブラインドは欧米の人々にとって生活

の一部だったのです。手工業では製造が間に合わないほどの需要で、工業製品としての事業化の契機となりました。

1950(昭和25)年頃から高度経済成長が始まり、官民のビル建築ラッシュや、生活様式の洋風化により、ブラインドに対するニーズは、さらに高まってきました。中でも、創業者が一般住宅への普及を視野に入れ、情熱を注ぎ、1971(昭和46)年に発売した「シルキー」は、インテリア性を重視した日本初の25mm幅アルミ圧延スラット(羽根)採用により大ヒット商品となりました。

わずかな色ながら、当時は画期的なカラーラインナップで注目を集め、現在もその商品ブランドは、当社の主力の一つです。

時代とともに、人々の暮らしとともに、地道で誠実に取り組んできたモノづくり。快適さを追求し続け、社是である「仕事には細心であれ、視野は広大であれ、理想は高遠であれ」の創業者の精神は、創業から今も受け継がれています。

#### 会社の沿革

- 1938年5月 立川孟美が東京都台東区柳橋に布製・木製ブラインドを製造する有限会社立川工業所を創業。
- 1947年10月 社名を立川ブラインド工業株式会社へ改称。
- 1967年11月 部品およびカーテンレールの製造販売を目的に、現在の立川機工株式会社(連結子会社)を設立。
- 1968年5月 滋賀県愛知郡に滋賀工場を建設。全製品の一貫集中生産を開始。
- 1974年4月 銀座ショールームを開設。
- 1974年5月 新潟県北蒲原郡(阿賀野市)に新潟工場を建設。全国の生産拠点を滋賀工場と二分化。
- 1976年3月 富士変速機株式会社(連結子会社)と業務及び資本提携。
- 1979年11月 北海道地区の生産拠点として、札幌製作所を建設。
- 1980年10月 九州地区の生産拠点として、福岡製作所(飯塚市)を建設。
- 1984年12月 室内外装品の設計、施工および販売を目的に、立川装備株式会社(連結子会社)を設立。
- 1987年10月 東京証券取引所市場第2部に株式を上場。
- 1988年10月 ファブリック製品の製造を目的に、立川布帛工業株式会社(連結子会社)を設立。
- 1989年6月 中国、四国地区の生産拠点として、広島製作所(呉市)を建設。
- 1991年2月 ファブリック製品の製造を目的に、滋賀立川布帛工業株式会社(連結子会社)を設立。
- 1993年12月 大阪ショールームを開設。
- 1994年10月 金沢ショールームを開設。(現 金沢ディスプレイスペース)
- 1996年9月 製品の大型化・電動化に対応するため、滋賀工場内に高層生産棟を建設。
- 1999年5月 仙台、名古屋ショールームを開設。住宅市場への浸透を図る。
- 2000年12月 ISO9001 全社範囲にて認証を取得。
- 2002年7月 中国国内でのブラインド、間仕切等の製造販売を目的に、中国上海市に立川窗飾工業(上海)有限公司(連結子会社)を設立。
- 2002年9月 ISO14001 新潟工場にて認証を取得。翌年、滋賀工場へ認証拡大。
- 2005年5月 本社を東京都港区三田(現住所)に移転。
- 2009年5月 文化・芸術の情報発信の場として、タチカワブラインド銀座スペース オツテを開設。(2022年 運営終了)
- 2009年11月 大阪支店新社屋を建設。
- 2010年12月 信越ショールームを開設。(現 新潟ディスプレイスペース)
- 2011年11月 中国上海市に上海ショールームを開設。
- 2012年12月 札幌ショールームを開設。
- 2013年3月 新宿ショールームを開設。
- 2014年4月 横浜ショールームを開設。
- 2015年7月 東京証券取引所 市場第1部に指定。
- 2016年11月 広島ショールームを開設。
- 2018年11月 福岡ショールームを開設。
- 2022年4月 東京証券取引所 プライム市場へ移行。
- 2023年4月 新宿ショールームを銀座ショールームへ統合。
- 2023年5月 さいたまショールームを開設。



#### 近年発売の製品

	~2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	
ブラインド類	デュオレ パーフェクトシルキー グラデーションブラインド®	ゼファー・フィュー フォレティアエグゼ アフタービートエグゼ	パーフェクトシルキー スリーウェイ	デュオレスリム フォレティア シェイディ モノコムシェイディ	ラルクシールド	シルキーシェイディ	シルキーシェイディ RDS シルキー RDS プレア	パーフェクトシルキー チェーン	フォレティアエグゼ チェーン アフタービートエグゼ チェーン ローリー-ESS クワトロタコスII	透明ロールスクリーン スマートインテリアシェード ホームタコス	グロスレス遮熱 スラット	フォレティア 電動 (リニューアル) ベルレ(リニューアル) プレア(リニューアル) デュオレ デュオレスリム (リニューアル)	パーフェクトシルキー シルキー (新カラーラインナップ) ホームタコス プレア・プレア ペア ホームタコス 「HEMS」対応開始	フォレティア アフタービート (新ラインナップ) エアレ ホームタコス フォレティア・アフタービート ホームタコス 「バッテリー仕様」
間仕切類	プレイス							プレイス スウィング						
カーテンレール他	ファンティア ビバーチェ		トリーチェ(電動) アルバーノ		ガレア			ヒューグライド ピレッタグライド				ティエルモ(電動) マルティ		

家庭やオフィス、人が集まる場所に、  
ニーズに応じた製品をご提供しています。

タチカワブラインドでは、家庭やオフィス、公共施設など、さまざまな空間において素材・機能・デザインを追求した製品開発を進めています。「人にやさしい快適な環境づくり」をテーマに、時代とともに多様化するニーズを的確にとらえ、高度な感性でより新しい空間をご提案しています。  
また、企画、開発、生産、販売、フォローまで統括的な管理を行うことで、常に時代を先駆ける製品の開発を進めております。

**H O M E**

**光を演出する、お部屋をコーディネートする。**

住まいの中で、人々が本当にくつろぎ、リラックスできる、快適な空間とはなにか…。

私たちは、性能、素材、色彩など、さまざまな視点から快適さの本質を追求することで、つねにお客様にご満足いただける製品づくりを目指しています。

**O F F I C E**

**高度化するビジネス空間を、もっと快適に。**

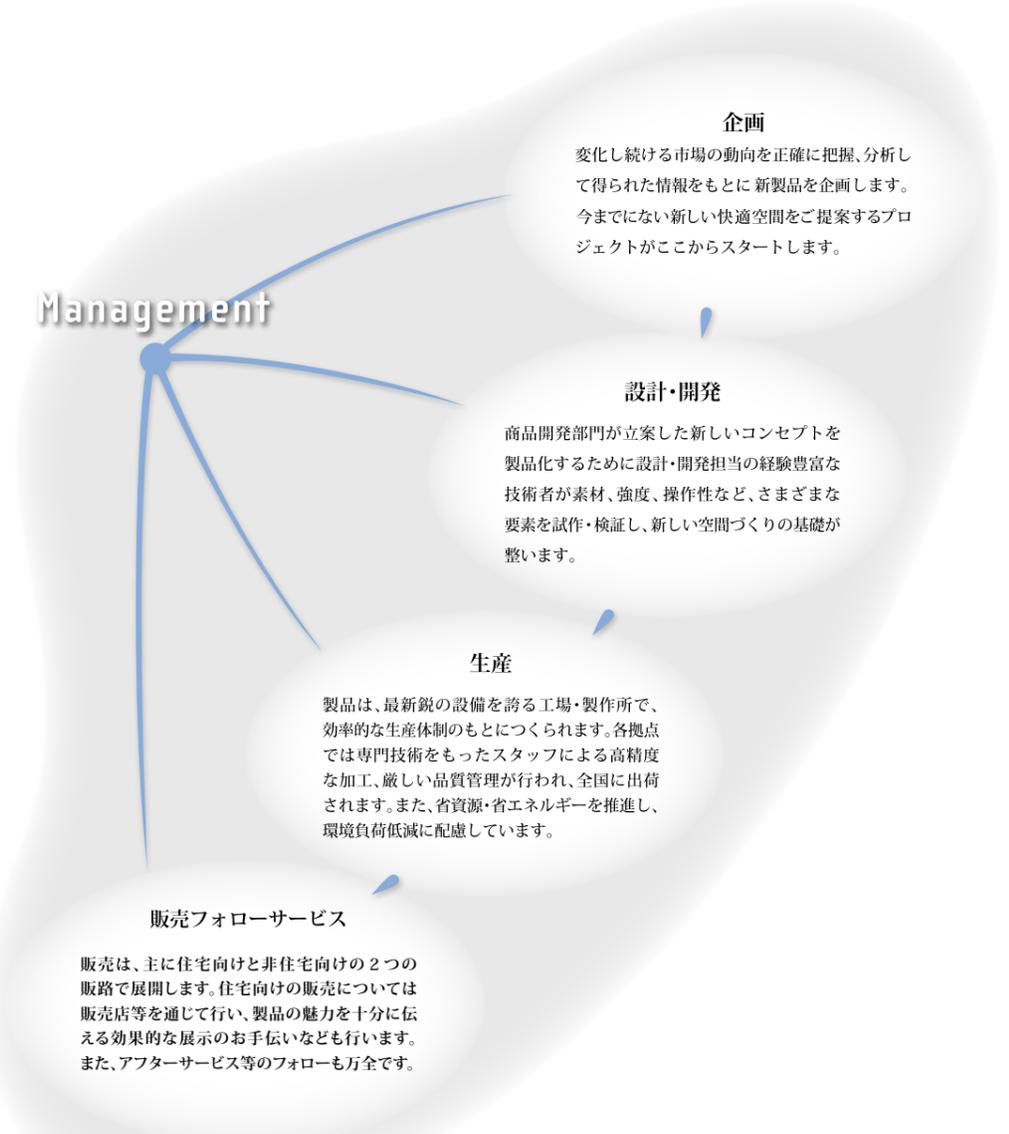
オフィスで働く人たちがいかに快適に過ごし、仕事に専念できる環境をつくるか。タチカワブラインドはビルの高層化やインテリジェント化に合わせて、優れた操作性や断熱効果の高いブラインドなどを取り揃え、人にも環境にも配慮した、あたらしい快適空間づくりの提案を行っています。

**P U B L I C**

**公共施設にふさわしい快適性を追求。**

多くの人々が集まる公共のスペースや多目的ホールやホテル…。そこでは多彩な空間づくりや演出が求められます。渋谷ヒカリエや新宿住友ビル三角広場など、その都市のランドマークとなる建物をはじめとしたさまざまな公共施設に納入し、確かな快適性を実証しています。

あらゆる空間を快適にするための  
統括管理された製品づくりとサービス。



**環境配慮・社会貢献への取り組み**

**サステナビリティへの取り組み**  
タチカワブラインドグループはSDGsへ賛同し、サステナビリティ基本方針のもと、事業を通じて、環境・社会・ガバナンスに関する重要課題に取り組むことにより、企業の継続的な成長と持続可能な地球環境・社会の実現を目指すサステナビリティ経営に取り組んでいます。

**環境にやさしい企業を目指して**  
全社でISO9001(品質マネジメントシステム)を認証取得するとともに、生産5拠点すべてでISO14001(環境マネジメントシステム)を認証取得、人にも環境にもやさしい企業を目指してものづくりを追求し、事業活動における環境負荷低減に取り組んでいます。

**安心・安全・快適で環境に配慮した住空間の提供**  
時代の変化とともに健康や環境、安全・安心に対する人々の意識がますます高まる中、継続的なマーケティング活動と製品開発強化を行い、常にお客様に安心・安全・快適で環境に配慮した製品を提供し続けることを当社グループのテーマとして事業活動に取り組んでいます。

詳しくはこちらをご覧ください。



登録日:2000年12月28日  
登録活動範囲:  
ヨコ型ブラインド、タテ型ブラインド、  
布製スクリーン及び簡易室内間仕切の設計・  
開発、製造、据付及び付帯サービス  
(点検修理、パーツの供給、取扱い説明)



登録日:2002年9月13日  
登録活動範囲:  
ヨコ型ブラインド、タテ型ブラインド、  
布製スクリーン及び簡易室内間仕切の製造



# HOME

光をコントロールして  
快適でリラックスできる空間を。

自分好みの照明を選び、部屋を彩るように、窓辺から差し込む自然の光をコーディネートする。自分自身で空間を演出する楽しさを多くの方々に知っていただきたい。私たちタチカワブラインドは住まいの快適な空間づくりのお手伝いをしています。いまの時代にフィットしたインテリア空間を演出し、またお客様のイメージを具体化のご提案をいたします。ブラインドや間仕切り製品は、さまざまな住環境、住む人の年齢、家族構成等を考慮して開発しています。お客様自身の希望にあったご満足いただける製品がきっと見つかることでしょう。



調光タテ型ブラインド「エアレ」  
タテ型ブラインドのスタイリッシュさと、カーテンのやさしい雰囲気をあわせもち、採光と眺望を自由にコントロールできる調光タテ型ブラインド。生地は1枚ずつ独立しているので、風を通し、生地の間から自由に出入りすることもできます。

## デザインと機能を追求して。

HOME

タチカワブラインドの製品は、すべて「人にやさしく快適であること」をコンセプトにつくられています。

主力製品であるやわらかな光を演出するヨコ型ブラインド「パーフェクトシルキー」をはじめ、ロールスクリーン「ラルクシールド」やタテ型ブラインド「ラインドレープ」など豊富なラインナップで窓辺を個性的に演出します。また、IoTにも対応するスマートインテリアシェード ホームタコスシリーズや用途に応じて空間を使い分けることができる間仕切「プレイス」「プレイス スウィング」など多彩に展開しています。



「スマートインテリアシェード ホームタコス」(窓まわりの電動製品)  
リモコンなどで簡単・快適に操作できる窓まわりの電動製品を豊富にラインナップ。木製ブラインドとデザインブラインドが新たに加わり、コンセントが窓の近くになくとも設置可能な「バッテリー仕様」も取り揃えています。



調光ロールスクリーン「ルミエ」  
2枚のレースの間にドレープを配した立体構造のロールスクリーン。ブラインドのようにドレープを回転して採光を調節し、レースがあることで、プライバシーを守りながら、やさしい光をお部屋に採り入れます。



環境への配慮、省エネをテーマに  
快適かつ新機能を追求します。

情報通信の発展に伴い、ますます高度化・高速化するビジネスの世界で、より快適なオフィス空間づくりのため、タチカワブラインドでは、こうした空間を演出するために必要な、ブラインド・ロールスクリーンなどを自動で開閉、調光するシステムをご提供しています。

ブラインドやロールスクリーンは、遮光・採光装置として、快適な光環境を作ります。また、オフィスの断熱効率を上げ、空調負荷低減に寄与します。

2024年に稼働した東芝 研究開発新棟「イノベーション・パレット」には電動の木製ブラインドやロールスクリーン、2022年に完成した「東京ミッドタウン八重洲」には電動のヨコ型ブラインドやロールスクリーンを納入。「飯田橋グラン・ブルーム」(2014年)や「東京ミッドタウン日比谷」(2018年)のオフィスでは、自動制御ブラインドを納入し、屋上に設置された当社独自の次世代型晴曇判断センサー「ソラミ」を用いて晴天・曇天を高精度で判断、ブラインドのスラットの開閉を自動制御し、空調負荷の低減や安定した自然採光の取り入れを実現しています。

今後も快適性と環境に配慮した製品を提供し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー

所在：東京都中央区

竣工：2022年8月

主な納入製品：電動ヨコ型ブラインド「ローリー-ESSタコスII」、  
電動ロールスクリーン



東芝 研究開発新棟「イノベーション・パレット」

所在：神奈川県川崎市

竣工：2023年11月

主な納入製品：電動木製ブラインド「フォレティア電動タコスII」(特殊)  
電動ロールスクリーン、ヨコ型ブラインド

人々が集うオフィス、店舗、ビルを  
魅力的な空間にコーディネートします。

働き方改革が進められる中、オフィスは安全性や省エネはもとより、魅力的で快適な空間づくりが求められています。

遮蔽性に優れた高遮蔽ブラインドは、光漏れを低減させ、空調負荷低減に貢献します。また、直遮光を遮りながら、昼光利用を行う自動ブラインド制御で、照明負荷低減に貢献します。

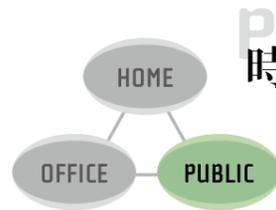
最新の次世代型電動ヨコ型ブラインド(上下分割制御)では上部と下部で異なる角度に設定が可能なので、遮蔽性能を備えながら、昼光利用ができ、眺望を確保することが可能となっています。

近年のオフィスビルではこのような高機能ブラインドの採用が進んでおり、電動ブラインドをパソコンで一括管理します。最適な日射制御を図りながら、眺望を確保。オプションで絵文字制御やビル影制御などにも対応可能です。

タチカワブラインドの製品はさまざまなニーズに対応できる製品をラインナップしています。



〔オフィス〕電動ヨコ型ブラインド「ローリー-ESSクワトロ35タコスII (上下分割制御)」  
ブラインドの基本操作に加え、スラットを上部と下部で異なる角度に設定可能。「光」・「熱」・「視線」をコントロールし、省エネと快適性向上を実現。執務者の概日リズム(サーカディアンリズム)を整えることで、生産性の高いオフィスづくりに貢献します。



時代をリードし、常に新しい技術へ挑戦する。

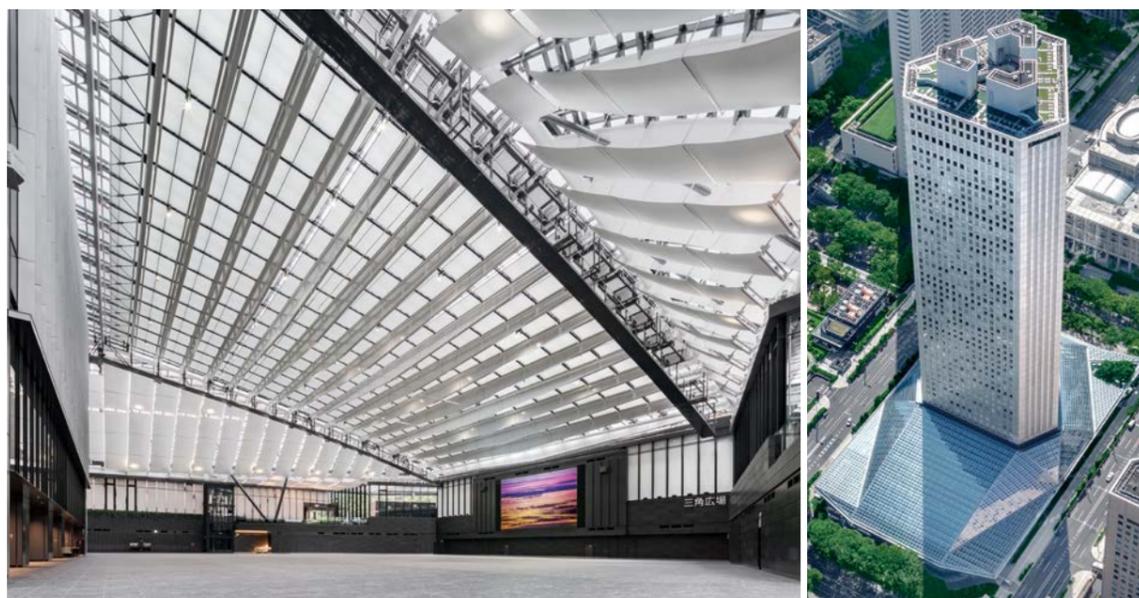
タチカワブラインドは、その都市のランドマークとなる建物に数多く納入し、常に時代をリードし、さまざまな光の演出をしております。

2012年に完成した「渋谷ヒカリエ」文化施設エリアには、特殊仕様の電動ロールスクリーンを納入。2020年には、国内最大級の複合MICE\*施設パシフィコ横浜内に開業した「横浜みなとみらい国際コンベンションセンター（通称：パシフィコ横浜ノース）」に、電動ロールスクリーンや電動カーテンレールを納入しています。

また、同年、リニューアルした「新宿住友ビル」の低層部に新設された、国内最大級の全天候型イベント空間「三角広場」に電動ロールスクリーンを納入。ガラスで覆われた大屋根は、天候やイベントの進行に合わせて、電動ロールスクリーンが開閉するなど、さまざまな建築物や公共施設に実績があります。そのほか、2023年は世界最大級の音楽アリーナ「Kアリーナ横浜」に隣接するホテル「ヒルトン横浜」にローマンシェードを納入しています。

これからも快適な空間づくりを追求し、時代をリードするタチカワブラインドにご注目ください。

\*MICEとは、Meeting(企業ミーティング)、Incentive Travel(報奨・研修旅行)、Convention(国際会議)、Exhibition/Event(展示会/イベント)の頭文字をとったビジネスイベントの総称。



新宿住友ビル三角広場  
所在：東京都新宿区  
竣工：2020年6月  
主な納入製品：電動ロールスクリーン(特殊)

## 公共施設に求められる機能的で 快適な空間づくりと高い信頼性。

PUBLIC

子供からお年寄りまで、さまざまな人々が集まる公共スペースは、より機能的で快適な空間づくりと高い信頼性が求められます。

コンベンションセンターなどの大規模な施設には、全館自動制御等も可能な電動ブラインド。店舗や商業施設などには、格調高く空間を演出するロールスクリーンやプリーツスクリーン。教育施設や医療・福祉施設には多目的に空間を効率的に仕切る、間仕切「プレイス」「プレイス スウィング」など、タチカワブラインドは用途に応じて信頼される製品を幅広く提供しています。

こうした数々の経験と実績が、製品の品質、安全性に結びつき、機能的で快適な空間づくりと高い信頼性につながっています。



〔教育・医療施設〕ロールスクリーン「ラルクシールド」  
抗ウイルス・制菌加工生地「ボルテII」は、防炎性能も有しているため、病院や学校、商業施設や店舗、オフィスなど防炎性能が求められる場所でも安心してご使用いただけます。



〔医療・福祉施設〕パネル間仕切「プレイス」(格納方式・出入りの方法：引戸)  
大部屋を仕切って個室のように使える「プレイス」。引戸は操作もシンプルで出入りもスムーズです。パネルを格納すると、開口を広く確保できるので、ベッドや車椅子の移動が簡単に行えます。



# 立川ブラインド工業株式会社

〒108-8334 東京都港区三田三丁目1番12号 TEL.03-5484-6100(大代表)

当会社案内には、環境にやさしい  
用紙・インキを使用しています。

